

若手ミーティングの再生計画

～つながりと活気を取り戻すための挑戦～

◎小西 智也¹⁾

社会福祉法人 京都社会事業財団 京都桂病院¹⁾

当院はがんゲノム医療連携病院に指定されている。それについて厚生労働省が指定する要件に、「第三者認定を受けた臨床検査室を有することが望ましい」とされていることから、安全で質の高い医療を提供するために 2021 年に ISO15189 の認定を取得した。その後現在に至るまで、検査全体の効率化や品質を維持するために、年に 1 回内部監査を実施している。そこで自身も昨年度内部監査員として携わり、会議全般およびミーティングなど、検査科の会議体について監査した。「若手ミーティング」もその会議体の 1 つである。

当院では職場に対する不安の解消と離職の防止という目的で若手ミーティングを 2021 年から立ち上げ、1 年目から 5 年目までの若手技師を対象に月に 1 回、終業時間後の 17 時 45 分から実施している。現在二十数名の若手技師が本活動に参加しており、若手同士、若手と先輩との交流ができる場として設けている。私自身、若手として参加してみて、同期はもちろん、年齢が近い先輩に分からないことがあれば気軽に質問しやすくなったと実感してい

る。また他部署との交流につながることも大きなメリットであると感じている。

しかしながら若手ミーティングの発足からここ数年で、参加者が毎回同じメンバーになっていることや、参加率の低迷、報告事項の伝達のみで発言する場が少ないことが内部監査にて報告されており、自身が監査員として携わったときもそのように感じられた。これらについて、本来の若手ミーティングの目的に沿っていないのではないかと考え、本活動をより良くするためにはどのような運営が必要か調査した。

実際に参加している若手技師にアンケートを実施するとともに、本活動には参加していない 6 年目以上の技師たちからの視点も踏まえて検討し、若手ミーティングの意義や今後の展望について考えた。

連絡先：京都桂病院（代表）075-391-5811

内線：7155